

PATENT ABSTRACTS OF JAPAN

(11)Publication number : 2001-229301
(43)Date of publication of application : 24.08.2001

(51)Int.Cl.

G06F 17/60

(21)Application number : 2000-104126 (71)Applicant : YAMAZAKI JUNICHI
(22)Date of filing : 17.02.2000 (72)Inventor : YAMAZAKI JUNICHI

(54) AUTOMATIC CANCELING OF TRANSFERRED CREDIT BY ELECTRONIC BILL

(57)Abstract:

PROBLEM TO BE SOLVED: To solve a problem that information sufficient to surely collate it with bill information cannot be sent by conventional information on being transferred and that a burden for reforming, etc., of a system is heavy and required collation information cannot be held freely in a system using a conventional exchange system.

SOLUTION: A creditor sends fund transfer request data to the account of the creditor from that of a debtor, which is added with information required for the collation of a bill and being transferred, to a bank, etc., by a computer system device. The bank, etc., sends this data to the debtor by this device. The debtor adds an understanding or reject mark to the sent data manually or by using his/her own computer by this device. The bank, etc., processes only data added with the understanding mark by this device and sends it with a transfer result back to the debtor.

LEGAL STATUS

[Date of request for examination]

[Date of sending the examiner's decision of rejection]

[Kind of final disposal of application other than the examiner's decision of rejection or application converted registration]

[Date of final disposal for application]

[Patent number]

[Date of registration]

[Number of appeal against examiner's decision of rejection]

[Date of requesting appeal against examiner's decision of rejection]

[Date of extinction of right]

Copyright (C); 1998,2003 Japan Patent Office

(19) 日本国特許庁 (J P)

(12) 公開特許公報 (A)

(11) 特許出願公開番号
特開2001-229301

(P 2 0 0 1 - 2 2 9 3 0 1 A)

(43) 公開日 平成13年 8 月 24 日 (2001. 8. 24)

(51) Int. Cl. ⁷	識別記号	F I	ターコード' (参考)
G06F 17/60	234	G06F 17/60	234 S 5B055

審査請求 未請求 請求項の数 1 書面 (全 2 頁)

(21) 出願番号 特願2000-104126 (P 2000-104126)

(22) 出願日 平成12年 2 月 17 日 (2000. 2. 17)

(71) 出願人 591073256

山崎 淳一

兵庫県西宮市羽衣町 7-32-509

(72) 発明者 山▲崎▼ 淳一

兵庫県西宮市羽衣町 7 丁目 32 番 509 号

F ターム (参考) 5B055 CB01 CB09 EE02 EE27

(54) 【発明の名称】 電子請求書による被振込債権自動消込

(57) 【要約】

【課題】 従来の被振込情報では請求情報との照合を確実に行うに十分な情報が送付できなかった。又、従来の為替システムを使用する方式ではシステムの改定等の負担が重く、且つ自由に必要な照合情報を保有することができなかった。

【解決手段】 電算機システム装置により債権者が銀行等に対して、債務者の口座から債権者の口座への資金振替依頼データに、請求と被振込との照合に必要な情報を付したものを送付する。銀行等はこのデータをこの装置により債務者に送付する。債務者は送られたデータをこの装置により手動又は自己の電算機を使用して了解または拒絶マークを付す。銀行等はこの装置により了解マークが付されたデータのみ処理して、振替え結果を付して債権者に返送する。

【特許請求の範囲】

【請求項 1】 債権者から送られる、銀行等に対する債務者の預金口座から債権者の預金口座への資金振替依頼データに対して債務者が、振替了承マークを付して銀行に返送し、銀行等は了承マークを付したものののみ振替え処理するように構成された電算機システム装置。

【発明の詳細な説明】

【0001】本発明は、債権者が銀行等に対して債務者の預金口座から債権者の預金口座への資金振替依頼データに請求情報と入金情報の照合に使用する情報を付して送り、このデータをパソコン画面等に表示し、債務者が資金振替了承マークを付して銀行に返送し、銀行等はこの照合情報を含む振替依頼データのうち、了承マークを付されたものののみ振替処理し、振替え結果の情報を付して債権者に返送するようになっている。

【0002】従来、被振込情報と請求情報の照合作業は金額、振込人名などで照合するため作業が不確実で負担が重かった。また、特殊な照合情報を使用する消し込み方式では銀行や債権者のコンピューターシステム改定が

大規模となり費用負担が重かった。また、既に稼動している為替の仕組みやコンピューターシステムを利用する方法では債権者が入金情報と請求情報の照合に使用する情報を十分且つ柔軟に保有することが出来なかった。

【0003】本発明は、債権者が銀行に振込依頼データを銀行に送るとき、入金と請求の照合に使用する情報を付して送ることができ、照合に使用できる情報を含むデータそのものに債務者が了解マークを付し、そのデータに対して銀行は、正常に振替え済み、残高不足で振替未済などの振替え結果情報を付して請求した債権者に返送できるので債権者の照合作業が確実に行える。

【0004】了解マークを付す仕組みは画面上での手動による指定操作によるほか、債務者の電算機と連動して自動的に判定、指定する方式としてもよい。

【0005】銀行等と債務者、債権者とのデータ授受はフロッピディスク等の有形の媒体により送付するほか、電話回線、インターネット等の電子媒体によってスピード化を図ってもよい。